

政治・経済ワークシート <政党政治と選挙制度>

3年 組 番 氏名

① 主要5政党のマニフェスト(2017衆院選から一部抜粋)を政策番号ごとに読み比べ、最も共感する政党の政策番号に○をする。次に全体を総合的に比較・考察して、投票したい政党の「投票」に○をする。その際、最も重視した政策の番号の横に☆をつける。

※政策番号のカテゴリー

1：憲法 2：安全保障・外交 3：消費税・教育 4：労働・経済 5：原発

A党「まっとうな政治。」 () 党) 投票

- 1 立憲主義を破壊する安保法制を前提とした憲法9条の改悪とは徹底的に戦う。
- 2 安保法制は違憲。領域警備法の制定など専守防衛を軸とする安保政策を推進。
- 3 直ちに消費税10%へ引き上げできない。児童手当の所得制限廃止。奨学金拡充。
- 4 実質賃金の上昇で中間層を再生。長時間労働の規制。最低賃金の引き上げ。
- 5 原発ゼロ基本法策定。パリ協定に基づく地球温暖化対策の推進。

B党「力あわせ、未来ひろく。」 () 党) 投票

- 1 変えるべきは憲法ではなく憲法をないがしろにした政治。憲法の全条項を守る。
- 2 安保法制の廃止。核兵器禁止条約に署名。日米安保条約を解消し友好条約締結。
- 3 消費税10%への増税中止。富裕税の創設で財源確保。認可保育施設を緊急増設。
- 4 残業規制の法制化。中小企業予算増額。最低賃金1000円以上に引き上げ。
- 5 原発ゼロの政治決断を行い再稼働を中止。電力の4割を再生可能エネルギーで。

C党「つくろう、新しい答え。」 () 党) 投票

- 1 現行憲法の基本的理念と立憲主義を維持しつつ、未来志向の憲法を議論。
- 2 現憲法の平和主義を尊重、専守防衛の堅持、日米同盟を軸に現実的な安全保障。
- 3 消費税率引き上げの際に用途を教育目的にも拡大。所得制限のない教育無償化。
- 4 長時間労働をなくす法律の制定。中小企業への支援を前提に最低賃金1000円。
- 5 2030年原発ゼロに向け、あらゆる政策資源を投入。省エネルギー社会の実現。

D党「教育負担の軽減へ。」 () 党) 投票

- 1 憲法規定に不備があれば加憲で改正を考える。例えば環境保護など。
- 2 安保法制の適正な運用を積み重ね実績を蓄積。切れ目のない日米同盟体制強化。
- 3 消費税10%引き上げ時、教育の無償化にも充当。飲食料品で軽減税率を実施。
- 4 名目GDP成長率3%を上回る経済成長。時間外労働に罰則付きの上限規制。
- 5 原発新設は認めず省エネや再生可能エネルギーの最大限の導入。

E党「この国を、守り抜く。」 () 党) 投票

- 1 自主憲法制定を党是に掲げ、三つの基本原理は堅持しつつ憲法改正を目指す。
- 2 防衛力の質と量を抜本的に拡充・強化。日米同盟を基軸。韓・中・露と関係改善。
- 3 2019年10月に消費税率10%へ。低所得家庭に限った高等教育無償化。
- 4 人工知能など最先端のイノベーション。長時間労働の是正。最低賃金1000円。
- 5 原発依存度を可能な限り低減。原子力は安全確保を大前提に活用する。

- ② グループでマニフェストの賛否について、自由に意見交換しましょう。

(メモ)

- ③ あなたが最終的にこの政党に投票したいと考えた理由を述べなさい。

- ④ マニフェストから政党名を予想して（ 党）に記入する。
＜選択肢＞ 自由民主党 立憲民主党 公明党 日本共産党 国民民主党

- ⑤ マニフェスト比較をやってみた感想を述べなさい。

＜本時のねらい＞

主要5政党の党名をふせて、各政党の政策スタンスの違いを比較・考察し、生徒同士で意見交換を行い投票することで、政治参加に関する興味・関心を高め、主体的に考え表現する力を養うことにつなげたい。なお本時の授業は、2019年7月21日投開票の参議院選挙の公示前に実施した。そのため題材として取り上げたマニフェストは、直近の国政選挙である2017年衆議院選挙の時のものであり、国民民主党については党HPの基本政策から引用している。